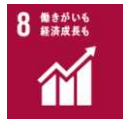


普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)6月27日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H25009

発 信 者 名:中橋

県内最大の JA サポート事業体の従業員研修、スタート！

高島地域には県内最大のサポート事業体、(株)アグリサポート高島が令和6年4月に誕生しました。経営面積は324ha(R6年度)と、市内の耕地面積の1割近くを耕作されています。同社は、市内の多くの地域で農作業に従事する従業員に農作物の基本的な知識を学ぶ場を設けようと、6月19日(木)に研修会を企画され、当課は講師として出席し水稻栽培の特性について講義を行いました。

高島地域では、近年多くの農業者がリタイアされ、農地が(株)アグリサポート高島に集まっています。従業員は 20 名に達し、ベテラン社員が経験の浅い社員に OJT で作業を伝えていますが、体系的に栽培を理解してもらうことは日常作業の中では難しい状況です。

同社との意見交換を重ねる中で、市内最大の面積を耕作する同社の社員が栽培のことを理解しながら市内各地の農地で作業をしてもらうことは重要であること、また、ゆくゆくは今後土地利用型を志す方の研修の場になっていただくこと等も視野に入れ、今年度から本取組がスタートしました。

当日は同社社員 10 名が出席し、水稻栽培について学ばれました。研修に当たっては稲や雑草の現物も持ち込み、できるだけわかりやすい説明を心掛けました。社員からは「よく見る雑草だったが、名前は知らなかった」「幼穂(ようすい)のことも初めて知った、勉強になった」などの声が聞かれました。

今後も月に 1 回程度の研修を実施される予定で、当課も支援を行っていきます。



現物を用いてわかりやすく説明